

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	学校図書館サポート推進事業		担当部署	教育委員会 学校教育課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市教育振興計画	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 20 年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期
(小項目)		学校教育			
施策	3	義務教育の充実			
基本事業	9	読書活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内の小・中学校						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	子どもたちが学校図書館を積極的に活用し、調べ学習や読書活動が活発に行われるなど、学校図書館の活性化が図られた状態。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	平成28年度から市内全ての小・中学校(兼務含)に図書館サポーターを配置の継続。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		学校図書館サポーターの配置	100	100	100	100	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	学校図書館サポーターを配置し、司書教諭と連携しながら、学校図書館運営の支援を行い、学校図書館を活用した教育活動や読書活動の推進を図った。また、図書館サポーター間での自主的な情報交換や意見交換の場としての研修を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	19	19	18	18	18	校
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学校図書館サポーターの配置	100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	0	3,922	3,922
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,922	3,922
		決算額	0	0	0	0	3,784	3,784
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	0.0	723	4,507			

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	3,756	3,784	4,956	4,956	4,956
	うち一般財源	3,756	3,784	4,956	4,956	4,956
	人件費	713	723	723	723	723
	総事業費	4,469	4,507	5,679	5,679	5,679

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		学校司書と連携し、読み聞かせ活動等を行い、読書活動の推進に貢献した。
	効率性	A:効率的だった		人件費は、必要最小限の時間数としており、これ以上削減することは出来ない。
②成果に対する評価	指標名	学校図書館サポーターの配置		全ての小・中学校へ、学校図書館サポーターの配置が(兼務含)できている。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		継続的なサポーターの配置により、学校と連携した、本市の読書活動の推進に貢献することが期待できる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市の読書活動を推進するにあたり、学校図書館サポーターは重要な役割を果たしており、今後も継続して配置する。また、学力向上・公平性の観点からも、学校の規模に関わらず、全ての学校に図書館サポーターを配置していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	継続して全ての学校へサポーターを配置。 12学級以上・・・週3日程度(年間120日) 上記以外の学校・・・週2日程度(年間80日) 平成30年度より研修24時間			
	H31年度	継続実施			